

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	市単独舗装新設改良事業			
予算科目	8 款	2 項	3 目	
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 出本 宗一	
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
事業の必要性	地元利用者からの要望により拡幅改良を実施した路線の機能向上、安全確保のため。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	市内一円	
運営方法	【運営方法】	【運営費(予定)】		
事業の目的	道路改良を実施した路線の舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事 行い利用者の利便性の向上と通行の安全確保を図る。			
事業の内容	道路改良を実施した路線のアスファルト等による舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	66,259	53,230	19,493	50,888
	人件費	11,136	12,063	4,021	12,063
	合計	0	65,293	23,514	62,951
人件費 内訳	人工数	1.40	1.50	0.50	1.50
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	11,135	12,063	4,021	12,063
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	77,395	65,293	23,514	62,951

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
工事請負費	66,259						
年度別事業費	66,259						
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	66,259					
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	工事実施箇所÷工事要望箇所＝実施率			
指標設定の考え方	地元要望箇所にする実施箇所の割合を上げることにより、市民生活の向上を図ることになる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	実施した路面性状調査の結果を踏まえ、舗装補修計画を作成し、上下水道課とも協議を行い、路面状態の悪いものから優先的に補修を行う。また、未調査の残りの路線についても対象路線を選定し、調査を実施していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	1級、2級市道及びその他市道の通行車両の多い順番に路面性状調査を実施した。概ね10年の舗装耐用年数に対し、20～30年も舗装維持修繕が行き届かない地域もあるが、通行量・財政面から考慮すると、全ての市道舗装修繕ができないこともあるため、補助で対応できるものは補助で対応すること。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	